

ゲンノショウコ



ゲンノショウコ（現の証拠、別名ミコシグサ）
フウロソウ科フウロソウ属 高さ 30-60 cm
民間薬として使われ、飲むとすぐに効果があることが名前の由来で、別名は種が熟してはじけた後の形がみこしの屋根に似ていることに由来します。花は雄性先熟で、雄しべが先に開いて花粉を放出した後に雌しべの柱頭が開き、自家受粉を避けています。小さな花でも一つ一つ観察すると、興味深くいろいろな状態がみられます。

9 月に見られる花

ツルボ・オトコエシ・リンドウ・シラヤマギク・シロヨメナ・シロバナサクラタデ・センニンソウ・コバノカモメヅル・ノハラアザミ・ヤマホトトギス・ミズヒキ・カシワバハグマ・ヒガンバナ・ノダケ・ヤクシソウ・カラスノゴマ

